

## 株式会社京都フィナンシャルグループ

～データ利活用の取り組み加速に向けて～

## データ利活用基盤「Service Innovation Core:SIC」を導入

京都フィナンシャルグループ（代表取締役社長 土井 伸宏）は、NTTデータが提供するデータ利活用基盤「Service Innovation Core:SIC」を導入しますのでお知らせいたします。

当社は、第1次中期経営計画（2023年10月～2026年3月）において「地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する総合ソリューション企業」を目指す姿とし、その実現に向けて、グループ全体でのデータドリブン経営への変革を掲げています。

データドリブン経営への変革を実現するためには、データを集積・分析・利活用できるインフラ基盤の構築が必要不可欠であることから、今般、NTTデータが提供するSICを導入し、当社グループが保有するデータをはじめ、外部情報を含めた多種多様なデータを一元的に管理・集約するとともに、集約した大量データを高速かつ高精度に分析する基盤を構築し、新たなビジネス・サービスの創出につなげてまいります。

当社グループは、今後も、データドリブン経営の実践を通じ、高度化・多様化するお客さまのニーズに的確にお応えし、価値あるサービスの提供に努めてまいります。

## 記

## 1. SICの概要

データマネジメント	<ul style="list-style-type: none"><li>データの種類の拡充や長期蓄積を実現するため、データ管理システムのSnowflakeを採用し、クラウド上に基盤を構築します。</li><li>当社グループのお客さま情報を一元化し、お客さまに対してより総合的なソリューションを提供いたします。</li></ul>
データ鮮度の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>あらゆるデータを柔軟に集約するための連携基盤により、リアルタイムに分析が可能な環境を実現します。</li><li>データの鮮度が高まり、お客さまの要望により迅速に対応することが可能となります。</li></ul>
分析基盤	<ul style="list-style-type: none"><li>AutoMLツールやBIツールなどを活用し、膨大で多様なデータを効果的に分析する基盤を構築します。</li><li>データの利活用による業務の効率化や高度化をはじめ、“既存ビジネスの深化”と“新規ビジネスの探求”に取り組み、日々変化するお客さまのニーズに対応したサービスを適切かつスピーディーに提供してまいります。</li></ul>

## 2. 利用開始日

2024年5月7日

以上